



発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877(62)1022 FAX 0877(62)1553
Email chusannokai@pref.kagawa.lg.jp

HPはこちらから→



中讃管内の
新しい動き

第七回全国高校生花いけバトル ～いのちある花に向き合っていける～



前回の全国大会で第4位に入賞した飯山高等学校生徒のバトルの様子

高校生が2人1組になり、制限時間5分以内に即興で花をいける「全国高校生花いけバトル」についてご紹介します。県では、若い世代への花と緑の普及啓発を図り、花に親んでもらう機会を増やすことを目的に開催しており、今回が7回目になります。本年は、全国11地区での地方大会を経て、来年2月に高松で開催される全国大会で優勝チームが決まります。去る、8月19日にユープラザうたづハーモニーホールで香川大会が開催されました。当日は11校が出場し、その内、管内からは昨年優勝の県立飯山高等学校をはじめ5校7組が参戦しました。会場には県産花きを中心に花材が提供(管内の生産者からはオリーブやカーネーションが提供)され、大会を盛り上げました。香川県大会の結果、飯山高等学校が香川県代表として全国大会に挑みます。全国大会では、花のいのちと向き合い、元気よく、楽しい5分間で作品を作り上げてほしいです。また、全国高校生花いけバトル実行委員会事務局では本大会への寄付を通じて運営に参加いただき大会を盛り上げるとともに、花への関心を高めていただきたい思いから、ガバメントクラウドファンディング(「ふるさと納税型クラウドファンディング」)による支援をお願いしています。

お申し込みは下記URLか二次元コードから申込みください(10月12日締め切り)。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2288>

WEBサイトは
コチラから→

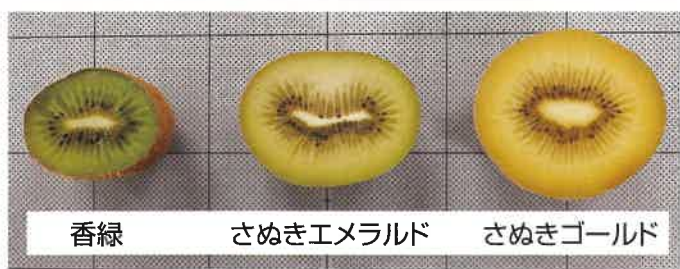


キウイフルーツ新品種「さぬきエメラルド」登場!

品種の紹介



さぬきエメラルドの果実



香緑

さぬきエメラルド

さぬきゴールド

【名前の由来】

“エメラルド”の様に気品あふれるキウイになってほしい!という意味が込められています

「さぬきエメラルド」(品種登録出願中)

は、香川県農業試験場が「讃緑」を種子親に用い、「さぬき花粉力」の花粉を交配し育成した新品種です。果実の大きさは平均150g程度で、**果肉は黄緑色**です。**糖度は18~19%**と既存品種と比べて高く、**非常に良食味**であるため、市場関係者や生産者からも高い評価を得ています。収穫期は10月中旬ですが、**貯蔵性が高い**ため、国産キウイが品薄となる年明け以降の出荷も期待されています。

キウイフルーツ主要品種の生育及び果実品質

品種名	発芽日	開花盛期	収穫日	果実重(g)	糖度(%)	クエン酸含量(g/100ml)
さぬきエメラルド	3月17日	5月4日	10月21日	165.8	19.2	0.70
さぬきゴールド	3月28日	5月8日	10月1日	189.2	15.6	0.79
香 緑	3月28日	5月18日	11月12日	131.0	16.1	0.67

※農試府中果樹研における2013~2022年までの10年間の平均値。「さぬきエメラルド」は2015~2022年の8年間の平均値



現地試験区の着果状況

老木化園地の高接ぎ事例

中讃管内の普及状況

善通寺市吉原地区では令和元年から現地実証試験を開始しました。現在、高接ぎによる更新が進められており、**来年度からの本格出荷**が見込まれています。

今年の秋から苗木の供給も開始されます。

是非「さぬきエメラルド」の導入をご検討ください。

高接ぎ更新では、主幹部への一挙更新で一時的に収量がなくなるものの、側枝への高接ぎに比べ、活着後の生育が良く、樹幹面積の早期拡大が可能です。

ひとりでも、グループでも。環境にやさしい農業に取り組んで 「みどり認定」を受けてみませんか？

- ◆香川県と県内全17市町は、共同で「香川県みどりの食料システム基本計画」を策定しました。環境にやさしい農業の取組面積の拡大に努め、環境と調和した農林漁業の実現を図ることを目標とします。
- ◆農林漁業者は、環境負荷の低減に取り組む5年間の事業計画を作成し、知事の認定を受けることができます。

グループ申請
も可能です！



◇「環境負荷の低減」の取組例

- ・土づくり及び化学肥料・化学農薬の使用低減
- ・燃油使用低減や水稻中干し期間延長等、温室効果ガスの排出削減 など

◇みどり認定を受けるメリット

メリット① 設備投資の際の所得税・法人税が優遇されます！

青色申告を行う農業者の方は、認定を受けた計画に従って化学肥料・化学農薬の使用低減に必要となる設備を導入した場合、通常の減価償却額に次の金額を上乗せして償却できます。

(機械など:取得価格×32%、建物など:取得価×16%)

メリット② さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます！

計画認定を受けると、国庫補助事業の採択審査のポイントが加算されます。
・その他、日本政策金融公庫の農業改良資金等の貸付けを受けられます。

<税制特例対象機械の一例>

- ・水田除草機
- ・色彩選別機
- ・堆肥散布機
- ・堆肥自動攪拌機
- ・リモコン草刈機
- ・アーム式草刈機



税制対象一覧
はこちら



対象事業はこちら

認定の申請手続きは、普及センターへ御相談ください

「水田活用の直接支払交付金」の交付対象水田について

水田で麦・大豆・飼料作物等を生産する農業者を支援するため、経営所得安定対策において「水田活用の直接支払交付金」が交付されています。しかし、国からは令和4年度から令和8年度までの5年間に一度も水張りが行われなかった農地は、令和9年度以降交付の対象としない方針が示されています。「水田活用の直接支払交付金」には、県及び各地域農業再生協議会が水田収益力強化ビジョンに基づき交付する産地交付金も含まれます。交付対象水田の条件を再度確認し、令和6年度からの計画的な水稻作付に取り組ましましょう。

5年水張りルール具体化

5年間に一度も水張りが行われていない農地は交付対象としません。

ただし、以下に該当するものは、5年間に一度も水張りが行われなかった場合であっても交付対象水田から除外しません。

- ① 災害復旧に関連する事業が実施されている場合
- ② 基盤整備に関連する事業が実施されている場合

※①、②のいずれの場合も、過去の作付けの実績及び将来の作付計画等から、確実に水張りを行うことが確認できる場合は、交付対象とします。

水張りは、水稻作付けにより確認することを基本とします。

ただし、以下のすべてに該当する場合は水張りを行ったとみなします。

- ① 湛水管理を1か月以上行う
- ② 連作障害による収量低下が発生していない

※5年を超える間隔でブロックローテーションに取り組んでいるケースについては、実例の検証を継続。
※現行ルール:たん水設備(畦畔等)や用水路等を有しない農地は交付対象外



受賞おめでとうございます

◆第44回香川県野菜立毛品評会

農林水産大臣賞	なばな	長尾 好高(丸亀市)
農林水産省農産局長賞	青ねぎ	株式会社三原農園(善通寺市)
香川県知事賞	アスパラガス	小林 真路(綾川町)
香川県農政水産部長賞	アスパラガス	来田 眞和(坂出市)
JA香川県中央会代表理事会長賞	きゅうり	楠原 重男(綾川町)
//	アスパラガス	田辺 文男(まんのう町)
JA香川県経営管理委員会会長賞	なばな	横田 千代子(琴平町)
JA香川県代表理事理事長賞	アスパラガス	土岐 岳大(丸亀市)
公益社団法人香川県青果物協会理事長賞	なばな	山本 高市(琴平町)
香川県野菜花き生産者研究会会長賞	なばな	宮武 和典(琴平町)
//	アスパラガス	大藪 家司(多度津町)

◆第12回香川県園芸振興貢献表彰

JA香川県代表理事理事長賞	アスパラガス	小田 保男(綾川町)
	アスパラガス	芋坂 和雄(まんのう町)

◆令和4年播き香川県高品質麦生産コンクール

個人の部 最優秀賞	三好 信之(丸亀市)	生産団の部 最優秀賞	農事組合法人有岡ファーム(綾川町)
個人の部 優秀賞	森 香文(多度津町)	生産団の部 優秀賞	農事組合法人山田宮農組合(綾川町)

※順不同で、敬称は省略させていただいております。

地域のリーダー新たに青年農業士1名認定

香川県では、自らも農業のプロとして優れた農業経営を営む傍ら、地域の農業振興のリーダーとして農業後継者の育成や農村地域活動に積極的に取り組んでいる農業者を「香川県農業士」、次世代の農業の担い手として活躍が期待される青年農業者を「香川県青年農業士」として認定しています。

今年度は、中讃地域から新たに坂出市の香川良太郎さんが青年農業士として認定され、青年農業士から農業士に1名認定、6名の方が再認定されました。また、長年、農業士としてご活躍された3名の方に名誉農業士の称号が付与されました。

今後、ますますご活躍されることを期待いたします。



坂出市 香川良太郎さん
経営品目 露地野菜

お知らせ

集落営農法人の将来を考える「農業経営改善セミナー」を開催します

中讃地域の集落営農法人は76法人(令和5年3月末)あり、構成員の高齢化等により経営の存続が課題となっています。そこで、機械共同利用や受託作業等を行う新組織を設立した先進事例紹介とともに、将来の組織の在り方や状況に応じた必要な手続き等について専門家から学ぶことで、集落営農法人の将来について考えます。集落営農法人の方のみならず、農業者の方々も是非ご参加ください

- 日時:令和5年9月26日(火) 13:30~15:45
- 場所:綾歌総合文化会館アイレックス小ホール(丸亀市綾歌町栗熊西1680)
- 内容:① 事例発表「集落営農法人が連携した新たな取組み(仮題)」
発表者 (株)ファームサポート広島中央 代表者 畝 啓一郎氏
- ② 講演「集落営農法人の今後の在り方及び消費税インボイス制度の直前対策について(仮題)」
講師 税理士法人共同経営センター 所長 田中 和幸氏
- ③ 情報提供及び意見交換「地域農業について考えよう!」

農産物流通について考える「農業経営研修会」を開催します

- 日時:令和5年12月5日(火) 14:00~16:00
 - 場所:綾歌総合文化会館アイレックス小ホール(丸亀市綾歌町栗熊西1680)
 - 内容:「ゼロから上場まで!~新しい農産物流通への挑戦~(仮題)」
発表者 (株)農業総合研究所 代表取締役会長CEO 及川 智正氏
- *詳細に関しては、添付しているチラシをご覧ください。